福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社ハレノヒ

②事業者情報

名称：　特別養護老人ホームフォレスト浦和	種別：　特別養護老人ホーム
代表者氏名：　施設長　伊藤　由理	定員(利用人数)：　120　名
所在地：　〒　330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤8－15－9	TEL　048-822-0100

③評価実施期間

令和　8　年　　5月　1日（契約日）～令和　8年　9月　15　日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

☆地域との交流が活発に行われており事業所の特色となっている。
隣接の保育所との交流が活発であり、交流行事は毎月行われている。また、利用者にとって大きな楽しみとなっている。また、地域自治会とも連携して施設見学会を開催するなど、地域に開かれた施設となっている。

☆リーダー層の定着と成長を支える体制づくりに力を入れている
昨年度からの取り組みの成果として、リーダー層の定着と成長が挙げられる。新人職員の業務進捗度の共有、管理など、体系的に行われるものが増え、カンファレスの頻度や内容の充実は、日々のサービスの質の向上などに寄与している。

☆各種研修の充実と支援力アップに取り組んでいる
事業所では、対面研修、集合研修を中心に年間研修計画を組み立てている。また、様々な雇用形態、職員層が参加出来るよう同様の研修を複数回行うなどの工夫をしている。そのため、1人あたりの研修参加可能回数が多く、職員の学びに対する意欲の向上や支援の統一に繋がっている。

◇コメントを要する点

★コミュニケーションの専門家としての人材育成が課題となっている
昨年からの取り組みにより、職員間の連携や育成に関しては、一定以上の成果は出ているものの、事業所としては、入居者とのコミュニケーションの更なる促進や職員の自主性や主体性について高めていきたいと考えている。

★認知症ケアの専門性向上が課題となっている。
認知症ケアに関する各種研修や、現場での指導、助言を行っており新たな取り組みとして外部Drによる助言、指導の仕組みを取り入れている。事業所としては十分とは感じておらず、さらに高い専門性を有する必要性があると考えており、新たな取り組みの導入や研修の強化等を検討している。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

昨年度に引き続き、評価を実施していただきありがとうございました。
職員アンケート結果を踏まえ、学習意欲や改善意欲が高められていること。また、リーダー層の育成・人材定着が改善されていることは取組みの成果として嬉しく思っています。
今回の評価では認知症ケアに対する継続課題のほか、ケアの質の向上・職員間の連携強化等のため、
コミュニケーションスキルの向上が課題であると感じておりますので、リーダー職を中心に共有を図り、
改善に向けて取り組んで参りたいと思います。
ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり